シグマ光機株式会社

証券コード：7713

第45期 報告書

2019年6月1日 ▶ 2020年5月31日

光なら、きっとできる。

Light Solutions for Life®

Contents

株主の皆様へ
2020年5月期業績のポイント（連結）
2020年5月期業績（連結）
2020年5月期セグメント別概況（連結）
2021年5月期業績見通し（連結）
2020年5月期海外業績の概況（連結）
CSR活動
株主様アンケート結果のご報告
連結財務諸表
株式の状況／会社概要
Topics
- こんなところにシグマ光機 ― 通信関連
- 新製品紹介 ― 小型自動ステージ
- 新工場棟の完成（埼玉県日高市）
- YouTube公式チャンネル開設

OptoSigma®

経営理念　我社は光産業を通じ、社会に貢献します。

新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方々、ご遺族の皆様に謹んで哀悼の意を表します。
また、罹患されている方々、困難な状況におられる方々が一日も早く回復されますよう心よりお祈り申し上げます。

「感謝」「挑戦」「創出」

新型コロナウイルス感染症の発生以来、個人消費の減少、企業活動の制限等、世界景気は急激な減速を見せ、先行きは一段と不透明感が増しました。その一方、半導体分野、情報通信分野やバイオ・医療分野等の先端研究開発分野では技術革新が続いており、今後ますます高度な光技術の需要の増加が見込まれております。

「我社は光産業を通じ、社会に貢献します。」という経営理念の実現に向けて、最先端の技術を支える光ソリューション・カンパニーとして事業に取り組んでおります。第45期には本社・日高工場の新工場棟が竣工いたしました。また、超高精度光学研磨設備の新規導入等による更なる技術力の向上、国家プロジェクトへの参画等による産学官連携の強化、WebやSNSの活用によるお客様の利便性の最大化と海外市場での認知度向上に取り組んでおります。今後とも、持続的な企業価値の向上と安定的な株主還元に努めると共に、社会の発展に貢献してまいる所存でございますので、株主の皆様におかれましては、何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

シグマ光機株式会社
代表取締役社長　近藤 洋介

2020年5月期業績のポイント（連結）

期後半の世界経済の減速等を背景に減少

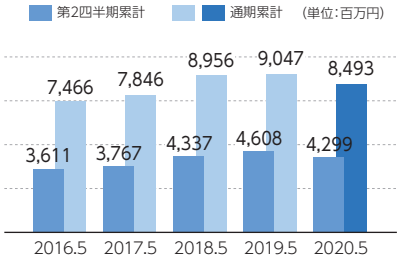
当期は、新型コロナウイルス感染拡大の影響等による期後半の世界経済の減速等を背景に、産業分野向けの需要が減少し、連結売上高は前年同期比で減少いたしました。国内・アジア地域では、フラットパネルディスプレイ業界向けや電子部品・半導体業界向けの需要が減少し、防衛業界、バイオ・医療業界向けの需要も弱含みで推移いたしました。米国地域では、バイオ・医療業界向けの需要が堅調に推移いたしましたが、欧州地域の需要は総じて弱含みで推移いたしました。

企業収益の悪化により設備投資案件が減少

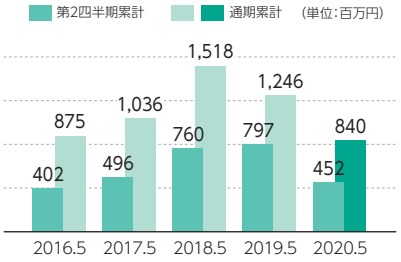
当期は、産業分野における設備投資の減速傾向等を背景に、生産現場向けの特注リピート案件及びOEM案件等での利益率の高い光学素子・薄膜製品や光学システム製品の需要が減少いたしました。引き続き全社的な経費削減及び生産性の向上等を進めておりますが、新規マーケット開拓のための高難度案件対応による材料費や外部調達費等の増加、ITシステム資産の供用開始等により減価償却費等が増加した結果、連結決算の利益の全項目は前年同期比で減少いたしました。

2020年5月期業績（連結）

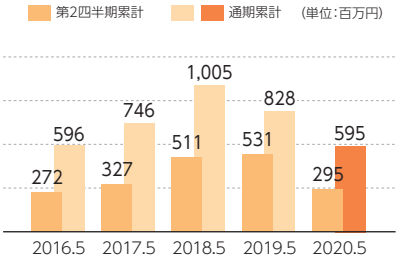
売上高 84億93百万円
（前年同期比 6.1％減）



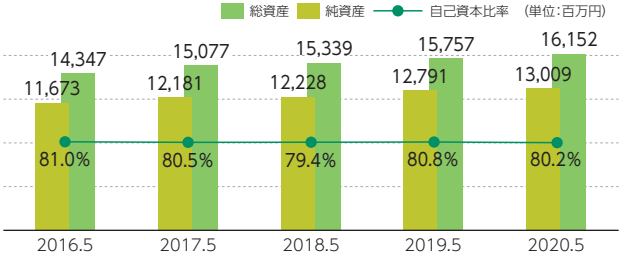
経常利益 8億40百万円
（前年同期比 32.6％減）



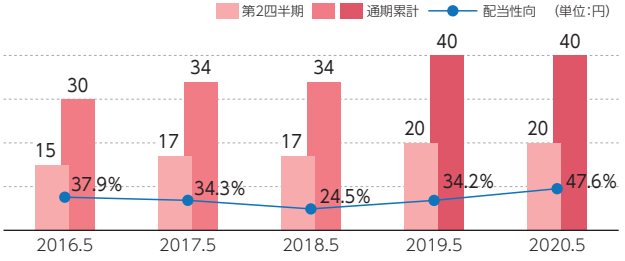
親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益 5億95百万円
（前年同期比 28.1％減）



総資産・純資産・自己資本比率



配当金、配当性向

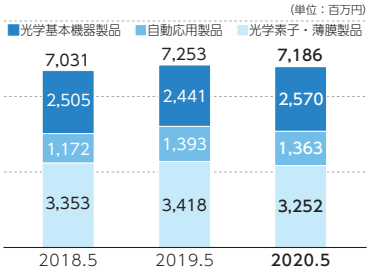


2020年5月期セグメント別概況（連結）

▶ 要素部品事業

■ 売上高

0.9% 減
（前年同期比 66百万円減）



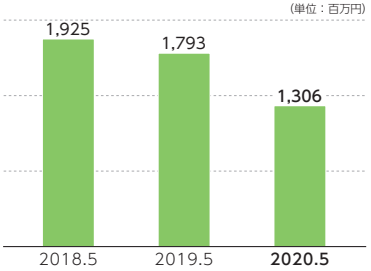
ポイント　景気減速の中、総じて弱含みで推移

大学・官公庁向けは弱含みで推移いたしました。国内・アジア地域では、エレクトロニクス業界向けの光学素子・薄膜製品は軟調も、光学基本機器製品の需要が堅調に推移いたしました。バイオ業界向け自動応用製品は軟調に推移いたしました。米国地域では、バイオ・医療業界向けの光学基本機器製品が堅調に推移し、欧州地域では一部の業界は底堅いものの総じて弱含みで推移いたしました。

▶ システム製品事業

■ 売上高

27.2% 減
（前年同期比 487百万円減）



ポイント　設備投資の減速を背景に軟調に推移

企業収益の悪化に伴う設備投資の減速を背景に、需要は軟調に推移いたしました。国内･アジア地域については、フラットパネルディスプレイ業界向けのレーザ加工機・検査装置への組込み用のレンズユニット等の光学ユニット製品の需要は軟調に推移いたしました。また、防衛業界、医療業界向けの光学ユニット製品の特注リピート案件等の需要は弱含みで推移いたしました。

2021年5月期業績見通し（連結）

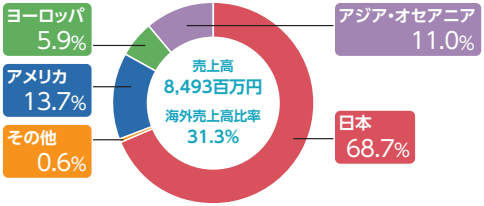
新型コロナウイルスの影響等、景気の下振れリスクが強まる中、半導体業界やバイオ・医療業界等では、徐々に回復の兆しも見えております。当社は、新工場棟への高精度な加工装置・検査装置の導入、国家プロジェクトへの参画等、ものづくり力を向上するとともに、オンラインセミナーの開催や製品紹介動画配信等、付加価値の高い提案型営業の展開により、国内外の有力成長市場でのシェア拡大に取り組んでまいります。第46期通期配当累計額は40円（予定）とし、安定的な配当を実施してまいります。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	配当額
8,510百万円	660百万円	765百万円	510百万円	40円（※通期累計額）
（前年同期比0.2%増）	（前年同期比7.3%減）	（前年同期比8.9%減）	（前年同期比14.4%減）	配当性向（見通し）55.5%

2020年5月期海外業績の概況（連結）

●顧客所在地別概況

■海外売上高構成比



■顧客所在地別売上高・営業概況

日本	5,837 百万円	産業分野向けが減少。FPD・電子部品・半導体業界向け光学要素部品の需要は弱含みで推移し、光学システム製品は軟調に推移。防衛・医療業界向けも弱含みで推移。
アメリカ	1,167 百万円	バイオ・医療業界向けの大口案件が寄与し、光学基本機器製品が堅調に推移。大学・官公庁等の研究開発機関向けの当社ブランド認知度向上施策を継続。
ヨーロッパ	502 百万円	大学・官公庁向けが堅調に推移。産業分野向けでは、光学測定及び医療分野等の需要が底堅く推移。Webカタログを活用した当社ブランド認知度向上施策を継続。
アジア・オセアニア	938 百万円	中国・韓国・台湾地域では、産業分野向け組込み用途等の需要が一時的に減少。東南アジア地域では、シンガポールのグループ販売会社を中心に事業拡大中。

グループ会社概況

OptoSigma

2020年3月期の売上高は前年比13%増の$12.6Mとなる過去最高の実績となりましたが予算は未達成でした。持続的な成長のために、人材、ITインフラ、品質・在庫管理、デジタルマーケティング活動に投資を継続してまいります。また、企業、大学、官公庁等の新規顧客に付加価値の高いソリューション提供に注力し、新型コロナウイルスの影響を軽減するために最善を尽くしてまいります。

OptoSigma Europe

2020年3月期の売上高は€4.26Mに達し、前年比で5.2%増加いたしましたが予算は未達成でした。また、2019年9月に1,500m²の新しい社屋に移転いたしました。2021年3月期は、製品の組立てと管理を開始いたします。また、Webサイトを刷新し、eコマースを更に強化する他、ドイツに駐在員事務所を開設し、欧州地域の事業促進を図ってまいります。新型コロナウイルスの影響を最小限に抑えながら事業活動を進めてまいります。

上海西格玛光机有限公司

2019年12月期は継続的成長と高付加価値製品の安定供給を目標に、生産技術と生産効率の向上に取り組んでまいりましたが、世界的な景気後退、新型コロナウイルスの感染拡大による需要減の影響もあり、前年比マイナスの実績となりました。2020年12月期は生産設備の更新を含め、引き続き生産技術、生産効率の向上及び間接部門の強化、整備に取り組んでまいります。

OptoSigma SIGMAKOKI Group

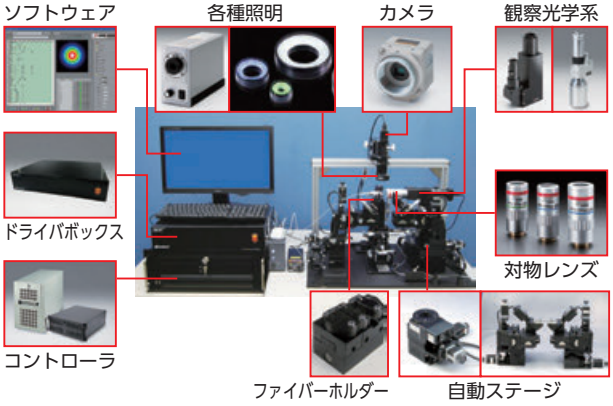
2020年3月期の売上高は1.32MSGDとなり、予算1.25MSGDを達成いたしました。提案営業による特注対応及びOEM製品販売の増加が貢献いたしました。2021年3月期は、新しいWebサイトとオンラインマーケティングを強化し、規格品の販売増加と当社ブランド認知度の向上等による市場シェアの拡大を目指します。新型コロナウイルスの影響を考慮し、柔軟に対応しながら事業活動を進めてまいります。

Topics　こんなところにシグマ光機 ― 通信関連

光技術とモーションコントロール技術の融合による自動アライメントシステム

長年にわたり光学機器メーカーとして培った「光」と「モーションコントロール」の技術を組み合わせ、高い信頼性とコストパフォーマンスを追求した自動アライメントシステム（調芯装置）をラインナップしています。
主に光通信関連のR&D・生産に用いられています。

例）ファイバーと※導波路の自動アライメントシステム



※導波路：光を伝送する回路・線路。光デバイスや光ファイバー等。

アライメント技術の主要な用途：

次世代/最先端研究開発
光通信デバイスの調芯、組立、評価
車載モジュールの組立・評価　等

お客様のご要望に応じたハードウェアの構築はもちろん、ソフトウェアを組み合わせたトータルシステムも提供しています。

シグマ光機は、高度なアライメント技術に必要な自動位置決め製品を、要求される精度・サイズ等に合わせて各種取り揃えています。得意分野である観察光学系と、微細なモーションコントロールを組み合わせることで、光通信技術の発展に貢献しています。今後も次世代通信規格向けの評価装置や研究開発等、光通信技術の急速な発達・普及が予想され、本分野における更なる需要の増加が期待されています。

Topics　新製品紹介 ― 小型自動ステージ

テーブル面サイズ25×25mmのステッピングモーター駆動の小型自動ステージです。
従来の製品より大幅に小型化され、省スペースが要求される生産設備や実験用途に最適です。

▲左からX軸、Z軸、回転軸のステージ

▼当社従来品とのサイズ比較

◀使用例

小型・軽量を活かして、限られたスペースの中でも複数の調整軸の自動化や遠隔操作に最適です。
テーブル面サイズを揃えており、多連配置もできます。スペースの有効活用及び省力化等、生産性向上に寄与します。

※ゴニオステージも近日発売予定です。

Topics　新工場棟の完成（埼玉県日高市）

本社・日高工場（埼玉県日高市）に建設していた新工場棟が完成いたしました。4月より稼働を開始しています。
新工場棟では、「光学素子・薄膜製品」と「光学システム製品」の生産技術を向上し生産能力を強化していきます。

●本社・日高工場新工場棟

●大型加工機エリア

●クリーンルーム

Topics　YouTube公式チャンネル開設

詳細な情報はこちらからご覧ください。

https://www.youtube.com/channel/UCOch4rYZF2zN4QC_sG2G3pQ

当社では、お客様への製品紹介や使用方法をより鮮明にイメージしていただける「YouTube公式チャンネル」を開設しています。
YouTubeに使用する動画は、直感的な理解と訴求力に優れ、強く印象が残ります。YouTubeを活用し、お客様へのアプローチを強化して、当社の認知度を高めていきます。
また、これを機にSNSを活用し、更にお客様とのコミュニケーションの場を広げていきます。

1. 新型コロナウイルス感染症対策への取り組み

当社は新型コロナウイルス感染症の拡大にあたり、株主の皆様や取引先様、従業員の安全確保と感染拡大の防止を最優先とし、政府及び各自治体等の指導・要請のもと、ものづくり企業として安定供給の責任を果たすために様々な対策を講じています。今後も刻一刻と変化する社会情勢に応じ、必要な対応を進めています。

■感染拡大防止対策

・手洗い・消毒、マスク着用、咳エチケットの徹底
・体調不良者に各種休暇制度の取得を奨励
・テレワーク、時差出勤の実施
・ソーシャルディスタンスの確保
・事業所内換気の実施
・オンライン会議の推奨
・全従業員へマスクを配布
・不要不急の来訪・往訪を制限

■社会貢献活動

・医療機関、取引先様等へのマスク寄贈

■その他の取り組み

・新型コロナウイルス対策本部を設置
・小学校休校等臨時休業に伴う保護者への特別休暇（有給）の付与（実施期間：政策動向に合わせて柔軟に対応）

▲ソーシャルディスタンスの確保

▲マスク寄贈

2. 女性従業員の活躍推進

当社は、女性従業員を含む全ての従業員があらゆる分野において活躍の場を広げるため、個々の能力を発揮できる職場環境の整備及び生き生きと働ける職場環境の提供とワーク・ライフ・バランスの充実化に取り組んでいます。

働く女性サミット

当社は中堅女性従業員を対象とした教育研修を継続しています。経営層とコミュニケーションを取ることで、一人ひとりの視野が広がり、新たな価値観の創出や固定概念に囚われず行動するための意識改革を図っています。今回は、新型コロナウイルス感染症の流行を鑑み、3密の回避対策のため、集合型研修からWeb会議システム形式に変更し開催しました。

女性活躍推進に基づく行動計画

■計画期間　2016年4月1日～2021年3月31日（5年間）

■数値目標の進捗状況（2020年6月1日時点）

・製造、開発職種の女性人員数　103名（目標：99名）
・係長相当職以上の女性人員数　13名（目標：15名）

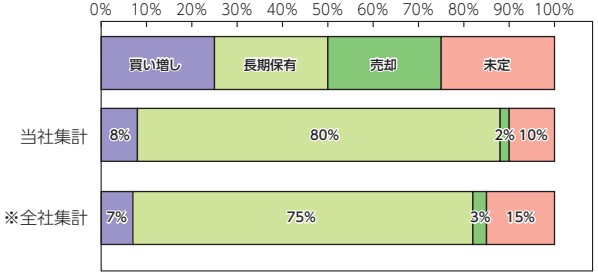
※詳細は当社ホームページをご参照ください。
http://www.sigma-koki.com/pages/company/wlb_jp.php

株主様アンケート結果のご報告

株主様アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

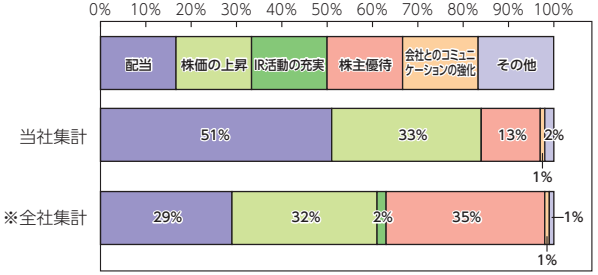
第45期中間報告書で実施させていただきましたアンケートにつきまして、アンケート対象の全株主様4,318名（2019年11月30日時点）の約2%に相当する83名の株主様からのご回答をいただきました。お寄せいただきましたご意見・ご要望等は、今後の会社経営及びIR活動に活かしてまいります。

●当社の株式に対してどのような方針をお待ちですか



※全社集計:株主様アンケートの実施先で同期間に実施された全ての他社株主様アンケートの集計です。

●株主として当社に最も期待するものは何ですか



株主様からのご意見

Q 新工場棟も完成するので事業拡大を望む。

A 本社・日高工場の新工場棟は4月より稼働を開始いたしました。新工場棟では、超精密加工設備の導入や作業エリアの拡充等、生産能力の増強を図ると共に、作業エリアの集約、配膳動線の見直し、自動化・高速化設備の導入等による生産性向上にも取り組んでおります。現在需要が高まっている産業分野や今後の成長が見込まれる最先端研究開発分野において、お客様の需要に迅速に対応できる体制を構築し、持続的成長を目指してまいります。

Q 独自先端技術でますます発展していってください。

A 当社は、光学製品の専門メーカーとして、大学や公的研究機関等との連携を推進しております。2020年の夏にアメリカ航空宇宙局(NASA)が打ち上げました火星探査機には、鉱物等の成分分析を行うユニットの中に当社の光学製品が搭載されました。国内では、JST未来社会創造事業が展開する「クラウド光格子時計による時空間情報基盤の構築」プロジェクトに参画しております。光技術の可能性を更に広げるべく、先端技術への取り組みを継続してまいります。

株主様からのご意見・ご要望のご紹介

- 光産業のリーディングカンパニーとして日本の産業界を引っ張っていってください。今後の業績に期待しています。
- 安定した配当を期待しています。
- 技術力を活かした社会貢献に期待しております。
- 成長を期待していますので、頑張ってください。

連結財務諸表

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科　目	当　期 2020年5月31日現在	前　期 2019年5月31日現在
（資産の部）		
流動資産	8,993	8,887
固定資産	7,159	6,869
有形固定資産	3,775	3,439
無形固定資産	136	152
投資その他の資産	3,247	3,277
資産合計	16,152	15,757
（負債の部）		
流動負債	1,855	2,072
固定負債	1,287	893
負債合計	3,142	2,966
（純資産の部）		
株主資本	12,788	12,476
その他の包括利益累計額	164	255
非支配株主持分	56	59
純資産合計	13,009	12,791
負債・純資産合計	16,152	15,757

連結損益計算書

（単位：百万円）

科　目	当　期 2019年6月 1日から 2020年5月31日まで	前　期 2018年6月 1日から 2019年5月31日まで
売上高	8,493	9,047
売上原価	5,265	5,371
売上総利益	3,227	3,675
販売費及び一般管理費	2,515	2,551
営業利益	711	1,123
経常利益	840	1,246
親会社株主に帰属する当期純利益	595	828

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科　目	当　期 2019年6月 1日から 2020年5月31日まで	前　期 2018年6月 1日から 2019年5月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,144	869
投資活動による キャッシュ・フロー	△297	△825
財務活動による キャッシュ・フロー	142	△420
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△56	33
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	933	△343
現金及び現金同等物の 期首残高	2,516	2,859
現金及び現金同等物の 期末残高	3,449	2,516

解説ポイント

●連結貸借対照表

＜資産の変動＞
流動資産は、前期末比で1.2%増加いたしました。これは、現金及び預金が増加し、有価証券、原材料及び貯蔵品がそれぞれ減少したことなどによるものです。固定資産は、前期末比で4.2%増加いたしました。これは、本社工場新工場棟の完成により建物及び構築物が増加したことなどによるものです。この結果、総資産は、前期末比で2.5%増加いたしました。

＜負債の変動＞
流動負債は、前期末比で10.5%減少いたしました。これは、短期借入金が増加し、未払法人税等が減少したことなどによるものです。固定負債は、前期末比で44.1%増加いたしました。これは、設備投資及び長期運転資金としての長期借入金が増加したことなどによるものです。この結果、負債合計は、前期末比で6.0%増加いたしました。

＜純資産の変動＞
純資産は、前期末比で1.7%増加し、自己資本比率は、80.2%となりました。

●連結キャッシュ・フロー計算書

当期の現金及び現金同等物は、前期末比で9億3千3百万円の増加となりました。
営業CFは、税金等調整前当期純利益、減価償却費、たな卸資産の減少でそれぞれが増加し、法人税等の支払で減少いたしました。
投資CFは、有価証券の償還による収入で増加し、当社における新工場棟建設や当社及び子会社における生産設備の取得などといった、有形・無形固定資産の取得による支出などで減少いたしました。
財務CFは、設備投資及び長期運転資金としての長期借入れによる収入で増加し、配当金の支払、長期借入金の返済による支出などにより減少いたしました。

詳細な情報はこちらをご覧ください。http://www.sigma-koki.com/pages/ir/index_jp.php

株式の状況（2020年5月31日現在）

①発行可能株式総数　32,000,000株

②発行済株式の総数　7,552,628株

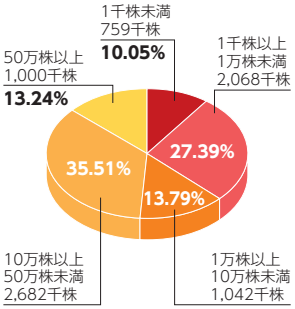
③株主数　4,474名（前期末比230名増）

④主要株主

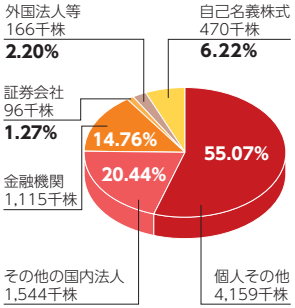
株主名	所有株数（千株）	持株比率（%）
浜松ホトニクス株式会社	1,000	14.11
シグマ光機取引先持株会	398	5.63
シグマ光機従業員持株会	223	3.15
株式会社ツシマ	210	2.96
株式会社埼玉りそな銀行	203	2.86
富国生命保険相互会社	200	2.82
株式会社サンライズクリエート	148	2.09
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	146	2.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	143	2.02
杉山大樹	110	1.56

（注）1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、小数点第3位を切り捨てて表示しております。
3. 持株比率は、自己株式（470,332株）を控除して計算しております。

所有株数別株式分布状況



所有者別株式分布状況



（注）1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、小数点第3位を切り捨てて表示しております。
3. 自己名義株式（470,332株）を含んでおります。

会社概要（2020年8月27日現在）

社名	シグマ光機株式会社
本社	埼玉県日高市下高萩新田17番地2
設立	1977年（昭和52年）4月
資本金	26億2,334万円
従業員数	357名（2020年5月31日現在）
役員	代表取締役社長　近藤洋介
	取締役　中村良二
	取締役　多幡能徳
	取締役　小澤勉
	常勤監査役　山口秀一
	監査役　南雲幸一
	監査役　野﨑誠

（注）1. 小澤勉氏は社外取締役であります。
2. 南雲幸一氏及び野﨑誠氏の2氏は社外監査役であります。
3. 社外監査役 野﨑誠氏は独立役員であります。

主な事業所

- 本社・日高工場
- 東京本社
- 大阪支店
- 九州営業所
- 能登工場
- 技術センター

関連会社

- OptoSigma Corporation
- OptoSigma Europe S.A.S.
- OptoSigma Southeast Asia Pte. Ltd.
- 上海西格瑪光机有限公司
- タックコート株式会社

当社の報告書は、「UDフォント」を採用しています

視認性、判読性に優れたユニバーサルデザイン(UD)書体を使用し、弱視・老眼等視力の低下にお悩みの方にも読みやすいよう配慮をしております。

文字使用例
(従来) S36 ▶ (今回) S36

株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月開催
基準日	定時株主総会　毎年5月31日 期末配当金　毎年5月31日 中間配当を行う場合は、毎年11月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
電子公告URL	http://www.sigma-koki.com/

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記の【特別口座について】をご確認ください。

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

（電話照会先）フリーダイヤル 0120-782-031（通話料無料）
（インターネット ホームページURL）
https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、みずほ信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。左記株主名簿管理人とはご照会先及び住所変更等のお届出先が異なりますのでご留意ください。

〈特別口座に関するご照会先〉

（特別口座　口座管理機関）	みずほ信託銀行株式会社
（郵便物送付先）	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120-288-324（通話料無料）

株主の皆様の声をお聞かせください

下記ＵＲＬにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます
※なお、抽選は同時期に実施されている他社株主アンケートへの回答者を含めて行われます。

https://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 7713
いいかぶ　検索

空メールによりURL自動返信　kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます　QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

e-株主リサーチ
※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社 a2mediaについての詳細　https://www.a2media.co.jp）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。
●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」MAIL：info@e-kabunushi.com

シグマ光機株式会社
東京本社　東京都墨田区緑1-19-9
TEL.03-5638-8221（総務部）

UD FONT　ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080　VEGETABLE OIL INK